

# ハラルビジネスの現状と可能性（抜粋）

H26.1 九州経産局

## 1. ハラル（HALAL）とは … 健康的、清潔、安全、高品質、高栄養

### 【ハラルとハラムの意味】

- ◇イスラム法において、**合法的なもの**の事をハラル（halal）、もう一つの意味は「**健康的、清潔、安全、高品質、高栄養**」
- ◇健全な商品や活動を表すイスラム教の教え（戒律）の総称。安全で健康な生活を営むためのガイド
- ◇ハラルかハラムであるかは、「食」だけでなく、「健康・清潔・安全等」の簿イスラム教徒の日々の生活が該当
- ◇なお、非合法的なものをハラム又は非ハラール（non halal）
- ◇神が良いとしているもののみを食する、それ以外の行為をすることはすなわち背信行為。従って、神に身を委ねるイスラム教徒にとって、ハラルではない物を口にすることや行為は罪を犯すことであり、信仰の重要な問題。  
（コーランの根拠）「あなたがた使徒たちよ、善い清いものを食べ、善い行いをしなさい。われはあなたがたがすることを熟知している」  
「ハラルであるか、ハラムであるかを決めるのはアッラーのみ」  
（行為の事例） 賭博、高利貸し、利子、飲酒、同性愛、男性が女性の格好をする事やその逆、男性がシルクや金を身につけること  
ハラムなものをハラルと偽造する行為はハラム。ハラムな行為をする人とそれらを助成する事もハラム

### 【食べ物の場合】

- イスラム法（シャリア法）に基づき食肉処理されていない動物（注1）
- アルコール類 → 中毒性（注2）
- 豚・犬及びそれらの子孫 → 病原性寄生虫が発生しやすい（ソーセージ、ベーコン、スープ、ゼリー、ゼラチン、調味料、健康食品、豚由来の酵素）
- 虎・熊・象・猿などの長く鋭い牙を持つ動物 → 牙に毒性がある
- 鷲・ふくろうなど爪のある鳥や捕食鳥（注3） ○ネズミ・ゴキブリ・サソリなど病原菌を運ぶ動物や毒を持つ動物
- ロバ・ラバ（注3）。 ○ワニ・カエル・ヘビなどの両生類・は虫類 → 毒性を持つ
- シラミ・ハエ・ノミなどの嫌悪感を起こさせる動物 → 菌を運ぶ
- 花蜂（ミツバチ）・キツツキ（注3）（蜂蜜はハラル）
- 不浄な場所に棲息する「魚」や汚染水（魚・植物・キノコは有毒・中毒性がないものはハラル）
- 遺伝子組み換え品（注4）

（注1） 死肉や死んだ動物は腐敗のプロセスが人間にとって有害な化学物質を生む。動物の肉から流れる血は、有害なバクテリア、代謝の生成物、毒素を含んでいる

（注2） 中毒性のある物質は神経系にとって有害であり、感覚や人間の判断に影響を及ぼし、社会・家族の問題を引き起こし、時には死に至ることもある

（注3） 「触ってはいけない、殺してはいけない」と規定されている動物。こうした動物を食べることはその前段階で触り、殺しているので不浄

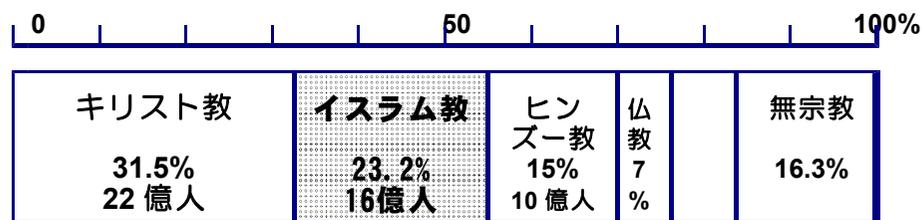
（注4） シャリア法で非ハラルとされている動物の遺伝物質を使用した原料を含む飲食品は「非ハラル」

（注5） 鶏肉はイスラム法に従って合法的に屠殺されている場合はハラル。しかし、屠殺方法が合法であっても、盗まれた物は不道德及び窃盗行為のために「ハラム」。

## 2. イスラム市場とは・・・世界の1/3の人口、新興国、親日国

- ◇ハラル市場は人口は約**16億人**(イスラム教徒)で世界の**23%**。消費市場は全体で**3.1兆ドル**(**300兆円**)、うち、**食品**は**5,800億ドル**(**57兆円**)、飲食店のサービスは**1兆ドル**(**97兆円**)、医薬品・化粧品・日用品は**1.52兆ドル**(**150兆円**)に達する。
- ◇食品市場は**2010年**では**6,420億ドル**(**626兆円**)で、地域では**アジア**が**406億ドル**(**4兆円**)、**EU**は**67億ドル**(**6,500億円**)、**国**では**インドネシア**が**79億ドル**(**7,700億円**)、**非イスラム国**では**インド**、**中国**、**ロシア**も大きな市場

### 世界の宗教人口



キリスト教：カソリック、プロテスタント、ギリシア正教、英国国教会

### 世界のハラル市場

	2006年	2013年
非食品	1.52兆ドル	—
医薬品	6,070億ドル	8,130億ドル
サービス	1兆ドル	—
食品	5,800億ドル	6,800億ドル
合計	3.1兆ドル	—

出所：Halal Industry Development Corporation

### 世界のハラル食品市場（国別の推移）

単位 10億米ドル

	2004年	2005年	2009年	2010年	2010年		
					10億円	前年比	構成比
ハラル食品市場	587	596	634	642	56,368	1.3%	100%
アジア諸国	370	376	400	406	35,647	1.5%	63.2%
インドネシア	73	74	77	79	6,058	2.6%	12.3%
GCC	38	40	44	45	3,951	2.3%	7.0%
インド	22	22	23.6	24	2,107	1.7%	3.7%
中国	19	19	20.8	21	1,844	1.9%	3.3%
マレーシア	6.6	6.9	8.2	8.4	738	2.4%	1.3%
EU	64	64	66.6	67	5,883	0.6%	10.4%
ロシア	21	21	21.7	21.9	1,923	0.9%	3.4%
アメリカ大陸	15	16	16	16	1,405	0.6%	2.5%
アフリカ等	117	119	127	131	11,5025	3.1%	20.4%

GCC：Gulf Cooperation Council:湾岸協力会議諸国

(サウジアラビア、UAE、クウェート、カタール、オマーン、バーレーン)

中東・パルシャ湾岸地域における地域協力機構。1981年5月、リヤドに本部を設置

出所：Halal Industry Development Corporation

### 3. ハラル認証・運用の料金例

- ◇ハラル認証機関・支援機関とも、多くは認証・運用費用は対象製造品で異なり、詳細は非公表  
 ◇(宗法)日本イスラーム文化センターによれば、事前に「10万円＋調査員の旅費等」、認証後は年間2万円＊が必要  
 HDCは、東南アジア以外の地域でハラルを取得する場合は、登録料と認証料(3,100ドル)＋調査員の旅費等  
 ◇設備・機器の整備、体制づくりからハラル認証取得までの総費用は、約200万円～数百万円が相場
- ・認証機関：NPO日本ハラール協会、(宗法)日本イスラーム文化センター、(宗法)イスラミックセンター・ジャパン、(宗法)日本ムスリム協会
  - ・支援機関：(一社)ハラール・ジャパン協会、NPO日本ハラール開発推進機構、NPO日本ハラール振興会
- ＊ロゴ使用料

#### ハラール認証・運用の料金例〔出所：宗教法人イスラミックセンタージャパン〕

		契 約	未 契 約
事前	契約料	50,000円／1年間有効 (初年度100,000円)	-- --
	電話相談料	無料	1000円／10分
	メール相談料	無料	5000円／件
	提出書類支援料	無料	50,000円
	事前審査料／1製品	無料	20,000円
	ブランド事前監査 証明書発行手数料	20,000円／日＋交通費 10,000円	100,000円／日＋交通費 50,000円
事後	トラブル対応	無料	100,000円／件
	ハラールロゴ使用料	20,000円／1証明 半年毎にブランド監査が条件	50,000円／1証明 半年毎にブランド監査が条件

#### ハラール認証取得費用〔出所：HDC〕

	登録料	認証料	調査費等
東南アジア＊	315ドル	910ドル	実費
その他の地域	100ドル	3,000ドル	実費

＊マレーシア、インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、フィリピン  
 出所：HDC（ハラール産業開発公）2006年創設のマレーシア政府直轄の  
 ハラル新興機関。ハラール認証発行機関のJAKIMを所管

#### ハラール認証取得までの総費用〔出所：ハラールビジネス推進協議会〕

◇設備、装置、道具、ムスリム採用、体制構築、認証  
 手続きを含めて、200万円～数百万円

#### ハラール認証の費用に係るトピックス

◇豪の食肉加工業者は、MUI（インドネシアイスラム聖職者会議）指定のハラール認証団体に一ヶ月27,000ドルも認証費用を請求された

## 4. ハラル認証・支援機関一覧

名称	英語表記	所在地	アドレス	電話	役割・活動
NPO法人 日本ハラール協会	Japan Halal Association	大阪市平野区 西脇	info@halal.com	06-6704-9505	◇ハラール認証機関 (JAKIM が承認した唯一のハラール認証機関)
宗教法人 日本ムスリム協会	Japan Muslim Association	東京都渋谷区 代々木	jamweb.net	03-3370-3476	◇ハラール認証機関 (JAKIM が承認した唯一のハラール認証機関)
宗教法人 イスラム文化センター	Japan Islamic Trust	東京都豊島区 大塚	info@islam.or.jp	03- 3971-5631	◇ハラール認証機関
宗教法人 イスラミックセンター ジャパン	Islamic Center of Japan	東京都世田谷区 大原	Islamcenter.or.jp	03 460-6169	◇ハラール認証機関
NPO法人 日本ハラール開発推進機構	JAHADep	東京都練馬区 練馬	j-halal.org	090-3916-1589	◇ハラール食・文化の普及、ハラール制度の導入促進、イスラム観光客誘致
一般社団法人 ハラール・ジャパン協会	Halal Japan Business Association	東京都豊島区 南池袋	halal.or.jp	03-4540-7564	◇ハラールの知識の普及・教育・調査 ◇ハラール商品のPR
NPO法人 日本ハラール振興会		京都府城陽市	halal-solution@hotmail.co.jp	0774-53-5595	◇ハラール認証取得の支援 ◇ハラールビジネス啓発・普及

出所：各種情報

## 5. イスラム国への進出状況

企業	商品	内 容	
有村屋 (鹿児島市)	さつま揚げ	<p>◇インドネシア産の魚のすり身を加工した完全インドネシア産の「さつま揚げ」を製造を開始(2011年1月)</p> <p>◇ブカシ工場では、イスラム指導者会議(MUI)のハラルの認証とHACCPの認証を取得</p> <p>◇日本食スーパーや高級スーパーに販路を広げ、飲食店にも卸す計画。米国や豪州への輸出も視野</p> <p>◇インドネシアには肉団子等の練り物食があり、良いさつま揚げを作れば受け入れられる素地がある</p>	
宮坂醸造 (東京都)	味噌	<p>◇2013年1月、西ジャワ州ブカシのみそ醸造工場生産を開始。目標生産量は5年以内に年千トン</p> <p>◇HACCPに基づいた認証とアルコールを使わず発酵を抑える方法で「ハラル」を取得予定</p> <p>◇シンガポールでは健康食ブームを背景に日本食・みそ汁が浸透、インドネシアでも同様の現象が起きると推測</p> <p>◇今後は、中東などイスラム圏への輸出拠点としても活用</p>	
トリドール (神戸市)	うどん	<p>◇「丸亀製麺」ジャカルタ1号店を2013年1月開店。2017年末までにインドネシアで40店舗を展開を目指す。食材の多くはインドネシア産、豚由来原料が混じった調味料は使っていない</p> <p>◇インドネシアで数十店開店できれば、次はイスラム圏への進出が目標</p>	
レイズインター ナショナル	焼肉	<p>◇「牛角」の名称で米国・台湾・カナダ・香港・タイ・フィリピンで合計41店舗を展開。シンガポール・インドネシア・マレーシアでは2007年に「ハラル認証」取得</p>	
カブリチョ ーザ(東京)	飲食業	<p>◇2011年にマレーシアにノン・ハラル・イタリアンレストランとして3店舗を営業。2012年にハラル認証を取得</p> <p>ビーフベーコンやビーフサラミを使用、ワイン由来のピネガーは不使用。売上額20～30万円/日/店</p>	
ゼンショー	飲食業	<p>◇マレーシアで牛丼等のハラル・レストランとして店舗展開(本社東京)</p>	
キューピー (東京)	食品 調味料	<p>◇マレーシアハラル認証を取得、2010年から現地でハラルマヨネーズを生産</p> <p>・認証機関から「マヨネーズのパッケージのキューピー人形の羽根がイスラム教で偶像崇拝を禁じられている『天使』と誤認される可能性がある」との指摘を受け、羽根が消えたイスラム圏向けのキューピーが誕生</p>	
江崎グリコ (大阪)	菓子類	<p>◇1970年にタイに進出し、ポッキーやプリッツを生産。インドネシア・マレーシアへの本格進出のため、相互認証している「タイのハラル認証」を取得</p>	

企業	商品	内 容
イオン グループ (東京)	小売業	◇ハラル認証団体はお互いの認証をもって、自分達の認証と同等とみなしており、イスラム国・非イスラム国から、ハラル原料を調達して、マレーシアでPB製品を開発・販売。 ◇ハラル認証というイスラム市場への「入場券」付きの食材・原材料を集め、PB商品としてイスラム市場で売る
味の素 (東京)	食品 調味料	◇インドネシアでハラル認証を取得。味の素を生産。2012年から旨味調味料「ほんだし」に相当する「Masako」を製造。インドネシアをハラル食品の供給基地に位置づけ、中東や北アフリカへの輸出を拡大する計画。 ・2000年、「味の素」の原料に豚の成分を使用してはなかったが、発酵菌の栄養源を作る過程で触媒として豚の酵素を使用、2001年に商品の回収を終了。触媒を変更してHalalに認証され、製造開始。
ヤクルト (東京)	乳酸菌飲料	◇1998年のインドネシア、2004年にマレーシアでハラル認証の取得。原材料の脱脂粉乳、砂糖、ブドウ糖、香料。特に、香料をハラル認可
玉膳製菓 (東京)	米菓子	◇土産用の「ハラルおかき。専用設備・アルコールを含まない醤油使用。輸出も検討 ◇イスラム教を理解する事から取り組み
A N A	航空	◇2014年後半から中近東国際便で自前調理の「ハラル機内食」を提供

出所：NR | 他



ハラル煎餅



カプリチョーザマレーシア店



牛角マレーシア店



羽根が消えたキューピーのロゴ



ハラルポッキー

## ASEANの非ムスリム・華人をターゲットとした「食ビジネス」の動向

- ◇インドネシアの非イスラム教徒は全人口の12%・約2500万人、マレーシアは全人口の38%・650万人。華人
- ◇中国に400店舗以上を展開する「豚骨スープの味千ラーメン」を非ムスリム向けにシンガポールに21店舗、マレーシアに3店舗、インドネシアに4店舗をオープン。他にも、ジャカルタ周辺では、華人向けに筑豊ラーメン、博多一幸社、博多一風堂、麵屋武蔵、三頭火、まる玉、、ラーメン38等の日系ラーメン屋や和民等の居酒屋店の**ノン・ハラル戦略**が進行
- ◇一方、地元のRAMEN TENは「ハラル対応ラーメン」を開発、中東や北アフリカでのフランチャイズ契約へ展開

## 6. ハラル取得中小企業一覧

企業名	所在地	ハラル認証商品	内容
吉村商店	佐賀県唐津市	鱈餡餃子	・鱈を使ったアンを嬉野のお茶を練り込んだ皮で包んだ「餃子」。2011年取得
J A 筑前あさくら	福岡県東峰村	ゆず胡椒	・東峰村産の胡椒「柚子サンバル」で2012年取得。特産品がハラル認証を受ければ村の農業の活性化につながるの思いから取組み（日本アジアハラル協会 福岡市）
原田醤油店	佐賀県有田町	濃口醤油	・アルコールを含まない醤油で2011取得。日本食レストラン等で販売
南薩食鳥株式会社	鹿児島県南九州市	鶏肉、ソーセージ	・鶏肉100%ソーセージ、スモークチキン。イスラム教徒や機内食などに利用
センカイミート株式会社	熊本県球磨郡錦町	ビーフ	・天然ハーブの配合飼料で育てた「ハーブ牛」や非遺伝子組み換えとうもろこしの配合飼料を与えた「開拓牛」。2012年にインドネシアの認証機関の認証を取得
グローバルフィールド	青森県八戸市	鶏肉	・青森県農産物生産組合が協同で商品化した鶏肉「青森シャモロック」。2010年取得
井上スパイス	埼玉県上尾市	幸カレー	・カレー粉やスパイス商品でハラル認証を取得。外食やホテル向けに輸出。
ひかり味噌	長野県下諏訪町	無添加田舎味噌	・JAKIMの承認を受けている日本ハラル協会より認証を取得（2012年） ・日本食レストランやハラルレストラン向け輸出。海外比率10%を目標。
林兼産業株式会社	山口県下関市	魚肉ソーセージ	・マレーシアの政府機関の認証を取得。マレーシアに食品製造会社と合弁会社を設立
駿府葵堂	静岡市葵区	緑茶	・有機栽培の茶葉で2012年に取得
かとう製菓	愛知県西尾市	いかの北海揚げ	・2013年7月にシンガポール高島屋様にて発売
株式会社二宮	東京都渋谷区	ハラル専門食品卸商社	・加工食品のハラル認証。ツアー向けハラル弁当、ホテルなどへのハラル料理提供

鱈餡餃子



柚子サンバル



幸カレー



田舎味噌



ビーフ



濃口醤油



静岡緑茶



## 7. 農水省の「輸出」・「ハラール関連」施策（2014年度）

### 目的 目標

輸出の拡大等のグローバルな「食市場」の獲得  
2020年までに、農産物・食品の輸出額を1兆円に倍増（2011年6月 日本再興戦略）

### 戦略

国別・品目別輸出戦略の策定・実施、司令塔の設置、ALL JAPANでの輸出体制の構築

#### (1) 輸出倍増プロジェクト

- 支援体制強化 → インドネシア等の新興市場の開拓を行う海外プロモーターの新設と輸出プロモーターの増員（ハラール専門家、イスラム圏専門の輸出プロモーター等）
- 展示会・商談会 → 在外公館やJETROとの連携による新興市場での展示会・商談会の開催

#### (2) 食品産業グローバル展開インフラの整備（補助金）

##### ① 輸出対応型施設の整備

###### ◇食肉・青果関連の施設整備

- ・イスラム圏向けの「**ハラール対応型食肉処理施設**」や輸出青果物の長期保存の低温貯蔵施設等の整備
- ・事業実施主体：都道府県、市町村、農業者の組織する団体等

###### ◇高度衛生管理施設整備

- ・水揚げから荷捌き、出荷の過程で輸出先国の「HACCP基準等を満たす荷捌き所や岸壁等」の整備
- ・事業実施主体：国、地方公共団体等

###### ◇HACCP対応のための水産加工・流通施設の改修事業

- ・輸出先国のHACCP基準等を満たすための水産加工・流通施設の改修整備、事業実施主体：民間団体等

##### ② 日本の食を広げるプロジェクト

- ◇農協等の産地間連携による輸出実証や海外の日本食レストラン・シェフ等を活用した日本食・食文化の発信
- ・委託費、補助率：定額、2/3以内、1/2以内

##### ③ 輸出促進のための防疫・検疫対策

- ◇輸出先国で登録されていない農薬の国内使用の低減・防除、国際病虫害情報の収集等

## 8. ムスリム観光・観光施設・宿泊施設等におけるムスリム誘致のための戒律対応事例

対応者	対応事例
千歳アウトレットモール 新千歳空港	◇旅行者向け礼拝所設置 ◇試験的に礼拝室を設置
関西国際空港	◇1ヶ所の祈祷室を2014年3月までに3ヶ所に増設。小浄施設も整備。 ◇59の飲食店のうち、2店舗がハラール認証（うどんと和食）、15の飲食店はノンアルコール・ノンポークメニュー
成田国際空港	◇出国審査前エリア前の「Silence Room」の名称を海外で一般的な「Prayer Room（礼拝室）」に変更、周知を強化 ◇2014夏までに水場と礼拝室を2カ所新設。各室は防犯対策を講じた上で常時開放にする方針
那覇空港ビルディング	◇2014年月に使用開始予定の新国際旅客ターミナルビル内に礼拝所の設置検討
ハウステンボス	◇2013年10月、従業員対象にイスラム教の研修会実施。礼拝用のマット、メッカを示す矢印を客室に設置 ◇食事や習慣なども戒律に合うよう園内整備をすすめる
ホテル日航関西空港	◇キブラ（1日5回サラート（礼拝）を行う方向を示す壁の窪）を設置
京都センチュリー ホテル	◇豚肉やアルコール等を使用せず、ハラール認証を得た食材を使用した京料理の「ムスリムフレンドリー」メニュー※を提供。そのため、専任の「ハラール管理者」資格を取得した3名のスタッフを配置 ◇貸出し用のキブラコンパス、礼拝用マット、女性用礼拝着の常備
ホテルグランヴィア 京都	◇2013年6月にマレーシア・ハラールコーポレーション株式会社所管の「ローカルハラール認証※」を取得 ※世界的に最も通用度の高いマレーシアのハラール認証基準をベースに日本の環境に合わせて作成したハラール基準（MHCが推奨）
奈良ホテル	◇ムスリム団体客の予約が入ると「ハラールフード」を提供 ◇「団体客の滞在中は空き部を礼拝室として開放。室内にキブラシールを貼ったり、礼拝用のマットを貸出し
カオサン東京ゲスト ハウス	◇日本人の普段の生活や祭りが人気（参加型）◇東京、大阪、福岡、別府等11店舗 ◇日本文化を体験している場面をスマホで撮影し、フェイスブック等で発信。SNSで情報が拡大。

※ムスリム向けのメニューがハラールであることを認証する呼称。（酒を提供する店舗全体の認証でなく、ムスリム用のメニューをハラール評議会の審査を経て認証を得る事が可能）

対応者	対応事例
ホテルスプリングス幕張	◇日本アジアハラール協会の指導でキッチンや食材などをハラール対応
大阪キャッスルホテル	◇豚肉に触れないよう専用の調理器具や皿などを新調
加森観光（北海道） ルスツリゾート（北海道）	◇2012年10月、サホロリゾートなど4つのリゾートの5つのレストランでメニューのハラール認証 ◇マレーシアハラールコーポレーション（MHC）のローカルハラール施設を取得。ハラール御膳とハラール牛しゃぶしゃぶを提供
新横浜ラーメン博物館	◇豚肉などの食材を使用しないラーメンを2013年7月より6店舗で提供（ベジタリアンラーメン等のムスリムフレンドリーのメニューを提供）、non-pork、ベジタリアンメニュー等のアイコン化 ◇祈祷室・小浄施設・ハラール対応自販機を設置。キプラコンパスを常備
ハラール・デリ（東京都）	◇観光客やビジネスマン向けのハラール弁当宅配
リングント・ジャパン（東京）	◇訪日外国人観光客誘致支援として、ホテル、国際会議場、イベント施設向けに、ハラール・ベジタリアン食をデリバリーするサービスを開始（仏教系、ヒンドゥー教系にも対応）
アゴーラプレイス浅草（東京）	◇ハラール認証を取得して、自社製造の「煎茶・緑茶」を空港等で販売
かとう製菓	◇ハラール認証を取得して、自社製造の「ハラール煎餅」を空港・ホテルで販売

出所：各種情報



キプラコンパス



▲メニューのアイコン化  
横浜ラーメン博物館  
メニューのアイコン化



かとう製菓のハラールロゴ



ハラールデリの宅配(ロゴ)



ルスツリゾートの  
そーめん流しのイベント



関空の祈祷室

## 9. 飲食店における「ハラール」と「ムスリムフレンドリー」

### ムスリム客の立場は5種類（タイプ）

- ①豚肉・飲酒は全員NO
- ②肉はハラール肉のみ（ノン・ハラール肉はダメ）、みりんはNO
- ③ハラール以外の肉はNO。みりんはアルコール分が加熱などで飛んでしまえばかまわない
- ④牛・ヒツジ・鶏肉など（ノン・ハラール肉）はOK、みりんはNO
- ⑤牛・ヒツジ・鶏肉など（ノン・ハラール肉）はOK、みりんもアルコール分が飛んでしまえばOK

お奨め



ムスリムフレンドリー

ムスリムウェルカム

No pork, No meat

### 店舗の4つのカテゴリー

カテゴリー		内 容	豚肉・アルコール系食材、肉の使用など
厳格 強い ↑	Halal ハラール	◇食事はすべてハラール食材を使用 ◇メニューはすべてハラール ◇酒類は「別メニュー」で提供	◇豚肉・豚由来製品なし ◇調理にアルコール系（日本酒、料理酒、みりん等）不使用 ◇肉料理がある場合は、ハラール肉を使用
	Musulim Friendly ムスリムフレンドリー	◇ムスリム客専用の「ハラールメニュー*」を用意し、その食材は全てハラール食材を使用 それ以外のメニューは一般客向け（いわゆる、ムスリムフレンドリーメニュー） ◇酒類は、一般メニュー又は別メニューで提供	◇豚肉・豚由来製品なし（使用している場合は調理過程・食器などを分離） ◇ハラール・メニューでは調理にアルコール系（日本酒、料理酒、みりんなど）不使用 ◇ハラール肉の料理はハラール・メニューに掲載 ◇ノン・ハラール肉の料理は、一般向けメニュー
	Musulim Welcome ムスリムウェルカム	◇豚肉・豚由来製品なし ◇調理にアルコール系不使用 ◇特にハラールメニューは提供せず、客が選択 ◇酒類は提供	◇豚肉・豚由来製品なし。 ◇調理にアルコール系（日本酒、料理酒、みりん等）を不使用 ◇ノン・ハラールの牛・ヒツジ・鶏等及びそれに由来する食材（チキン・エキスなど）を使用
緩い 厳格 ↓	Pork-Free No pork, No meat	◇ポークフリー（豚肉・その他の肉不使用）、 ただし、調理にアルコール系を使用 ◇特にハラールメニューは提供せず、客が選択 ◇酒類は提供	◇ノン・ハラールの牛・ヒツジ・鶏等及びそれに由来する食材（チキン・エキスなど）も不使用 ◇一部の調理にアルコール系を使用

\*「ハラール・メニュー」は一般のメニューと別に作る。その食材は全てハラール食材を使用。それ以外の「ノンハラールメニュー」と「酒類」は一般ゲスト向けにご提供。  
酒類（アルコール飲料）はハラール・メニューには入れられない。ハラール・メニューに飲料を含める場合はソフトドリンクを含める  
・豚肉、豚肉由来製品は扱わず、ハラールメニューではアルコールを含む日本酒、料理酒、みりん、味噌も使用せず、ハラール肉を使用した料理はハラールメニューに掲載  
・ハラールとノンハラール食材が混在する場合は、保存、管理、調理過程の査察を受け、禁じられた食材が混入しないよう区分け、また調理器具、食器は丁寧に洗浄

